

# 季刊民族学 バックナンバー 一覧

(2024年10月現在)

※在庫切れ（友の会 WEB サイト掲載の図書館にて閲覧いただけます）

号	特集タイトルなど	発行年	月
1	マダガスカル・フィールドノート——遠くて近い南の島に生きる人びと ほか ※	1977	10
2	ビバ! ロシーオ——スペイン南部の聖地巡礼 ほか ※	1977	12
3	トルコ・アナトリア ほか	1978	2
4	シチリアの伝承と祝祭 ほか	1978	4
5	エスパーニャ美味探訪 ほか	1978	7
6	アンデスのあし舟——インディオたちのトラ利用 ほか ※	1978	10
7	ダウ——インド洋をかける木造船 ほか ※	1979	1
8	習性と文化のあいだ——南西ユーラシアの羊飼いをたずねて ほか ※	1979	4
9	ハージル・アッダバイヤ村——上エジプト農村の人びとのくらし ほか ※	1979	7
10	『斐太後風土記』を掘り起こす——コンピューター民族学の展開 ほか	1979	10
11	イヨマンテ——アイヌの飼熊送り儀礼 ほか	1980	1
12	パラグアイのレース編み——グアラニー族のニャンドゥティ ほか	1980	4
13	海に生きる——ミクロネシア、サタワル島の人びと ほか	1980	7
14	イーベルのネコ祭り ほか	1980	10
15	踊るマンダラ——ラダック ヘミス寺とフィアン寺の祭り ほか	1981	1
16	神がみの跳梁 チョウとヤクシャガーナー——インドの舞踊劇 ほか	1981	4
17	英雄像の1000年——ジャйна教の大灌頂祭 ほか	1981	7
18	フォガラの水——サハラ沙漠の地下水道 ほか	1981	10
19	フロンティアの旅——アメリカ西部開拓者の実像 ほか	1982	1
20	オアハカの光と影——メキシコの祭りと暮らし ほか	1982	4
21	香港人の香港料理——裏通りにみる高密度都市の台所と胃袋 ほか	1982	7
22	都市のマオリ——ニュージーランド土着文化のルネッサンス ほか	1982	10
23	アフリカの川漁師——ニジェール川大湾曲部のボゾ族 ほか	1983	1
24	花蜜を求めて——日本の転地養蜂家 ほか	1983	4
25	牛牧民カレンジン——部族再構成と国民国家 ほか	1983	7
26	トルコの旋舞教団——始祖メヴラーナの生涯と追悼記念集会 ほか	1983	10
27	府中の暗闇祭——武蔵・大國魂神社例大祭の町方と講中 ほか	1984	1
28	荒野に生きる女たち ほか	1984	4
29	ナーリム族の戦いと平和 ほか	1984	7
30	ヒツジと生きる1年 ルーマニア北端、マラムレシュ県ポイエニ村 ほか	1984	10
31	チロルの早春賦 ほか	1985	1
32	タール砂漠のラクダ市 ほか	1985	4
33	消えた集落——ナーリム族の戦いと平和Ⅱ ほか	1985	7
34	サバンナのふたつの社会——フルベ族とバランタ族 ほか	1985	10
35	ケツァルとボラドールの踊り——メキシコ・クエツェランの観光化と伝統文化 ほか	1986	1
36	アジアの市場——タイの市場図鑑 ほか	1986	4
37	聖山アトスの復活祭 ほか	1986	7
38	ジブシーとロムのはざま——ヨーロッパ自由生活者の現在 ほか	1986	10
39	ハルモニたちの神——江陵端午祭見聞記 ほか	1987	1
40	長洲飽山節——その起源・歴史・現在 ほか	1987	4
41	バリ島の葬儀——舞踊家マンダラ翁の死 ほか	1987	7
42	特別企画 民族学を読むキーワード ほか	1987	10
43	アケラナリーとゾマー——マダガスカルの首都アンタナナリボの市場 ほか	1988	1
44	ティハーマー——北イエメンの海岸砂漠地帯の人びと ほか	1988	4
45	ニューイングランドの野外博物館 ほか	1988	7
46	舟形住居の原型を追う——サブ島とロテ島の住まい ほか	1988	10
47	民族の知恵——保存食 ほか ※	1989	1
48	1988 モスクワ ほか ※	1989	4
49	塩 ほか ※	1989	7
50	セビーリャ ほか ※	1989	10
51	魔物たちの夜——聖ニコラウス祭の習俗 ほか ※	1990	1
52	氷河上の聖窟をめざして ほか ※	1990	4
53	ヒョウタンの一生 ほか ※	1990	7
54	エジプトのマウリド——イスラームの祝祭、その歴史・現在・潮流 ほか ※	1990	10
55	現代に息づく黒人王国——西アフリカ・ベニンの王宮を訪ねる ほか	1991	1
56	カフィリスタン・ムンムレット谷 カラーシャ交響曲「ジョシ」 ほか	1991	4
57	つくられるゝ伝統、——黒人王国の歴史を探報する ほか ※	1991	7
58	ネパール——ボン教の生き残る村 ほか ※	1991	10
59	テト——ハノイとその近郊の旧正月 ほか ※	1992	1
60	ドラキュラ伝説への旅 ほか	1992	4
61	イエメンの道——幸福のアラビアの歴史をつくった街道図会	1992	7
62	セノイ族の夢の文化 ほか	1992	10
63	神秘的高地を走る ほか	1993	1
64	複合的聖地カイラーズ ほか	1993	4
65	メキシコ文化・思索の旅 ほか	1993	7
66	ジェンネ——西アフリカのイスラーム自由都市 ほか	1993	10
67	チャム族 ほか	1994	1
68	北アメリカの先住民・インディアン ほか	1994	4
69	バプアニューギニア、セビック河流域と北東内陸部 男性がつくる土器 ほか	1994	7
70	民族問題を考える ほか	1994	10
71	つくられた宗教都市パナーラス——ヒンドゥー教世界の聖地の成立と構造 ほか	1995	1
72	焼畑の民族誌紀行——ラオスの事例 ほか	1995	4
73	インレー湖のインダー族——シャン文化とビルマ文化のはざままで ほか	1995	7
74	イルカ漁の1日——狩猟の正体あるいは幸福をめぐって ほか	1995	10
75	立山信仰——天空の浄土の盛衰 ほか	1996	1
76	おカイコさん ほか	1996	4
77	ヒマラヤに生きる——ジュンベシ谷の森と草地と人 ほか	1996	7
78	湖と生きる——巨大な河川湖トンレサップをめぐる1年 ほか	1996	10
79	ムスタン——なぜゝ秘境、に王国が栄えたのか ほか	1997	1
80	世界1周4キロの旅——知力と体力の限界に挑む民博1泊2日極楽?ツアー ほか	1997	4
81	メッカ巡礼——イスラームの2大聖都メッカ、メディナをたずねる ほか	1997	7
82	ラトビアの冬祭り ほか	1997	10
83	ナガランド ほか	1998	1
84	博多祇園山笠 ほか	1998	4
85	特別企画 モンゴルの風貌 ほか ※	1998	7
86	マダガスカル断章 ほか	1998	10
87	アンデス高地——自然と人間と文明と ほか	1999	1
88	森の民の世界から ほか	1999	4
89	客船「飛鳥」——舞台裏の国際社会 ほか	1999	7
90	スルマ ほか	1999	10
91	モンゴル国のカザフ人 ほか	2000	1
92	韓国を知る Q&A 115 ほか	2000	4
93	ファヒネ島に半生をかける ほか	2000	7
94	オシラサマがいる風景 ほか	2000	10

95	男として、ウシの背を渡る——エチオピア南部、バンナの成人儀礼 ほか	2001	1
96	特集 沢沢敬三とアチック・ミュージアム ほか	2001	4
97	特集 ハワイ——多民族社会の光と影 ほか	2001	7
98	特集 ゆたかなる北太平洋 ほか	2001	10
99	特別企画 家族発見 ほか	2002	1
100	国立民族学博物館友の会 25年の歩み ほか	2002	4
101	特集 国家／国境をこえて ほか	2002	7
102	特集 探検記の誘惑——民族学者の魂をふるわせた25冊 ほか	2002	10
103	特集 植民地時代アンデスの教会美術 ほか	2003	1
104	特集 フナズシの民族学 ほか ※	2003	4
105	特集 カリブ海世界、終わりになき変容 ほか	2003	7
106	特集 イブン・バトゥータの旅——14世紀のイスラーム世界 ほか	2003	10
107	特集 残響のニッポン ほか	2004	1
108	特集 クメール文化の至宝——アンコール遺跡 ほか	2004	4
109	特集 人はなぜ戦うのか ほか	2004	7
110	特集 アフガニスタンの現在 ほか	2004	10
111	特集 人と自然との共生 ほか	2005	1
112	特集 生物の多様性、文化多様性 ほか	2005	4
113	ヤイラで過ごすトルコの夏 ほか	2005	7
114	特集 日本料理を食べる人びと ほか	2005	10
115	特集 中国を知る——社会と文化を読み解く48のキーワード ほか	2006	1
116	特集 アム・ダリヤに魅せられて——中央アジアと加藤九祚 ほか ※	2006	4
117	タウデニ——サハラに舞う塩の宝庫 ほか	2006	7
118	北アメリカ先住民社会の現在 ほか	2006	10
119	河口慧海の道 ほか ※	2007	1
120	特集 インド社会の現在——もうひとつのFashioning India ほか	2007	4
121	文化遺産との共生——ペルー・アンデス ほか	2007	7
122	国立民族学博物館友の会 30周年記念 梅棹忠夫と民族誌写真 ほか	2007	10
123	特集 ヨーロッパを逆照射する ほか	2008	1
124	特集 ロシア北方の民——ソ連崩壊後の激動期を経て ほか	2008	4
125	万国喫茶往来 第1回 紅茶とコーヒー ほか	2008	7
126	メキシコの夢——マヌエル・ヒメネスとゆかいな木彫りたち ほか ※	2008	10
127	大峯山の修験道——自然とともに生きる信仰の実践 ほか	2009	1
128	市がたつ雲海の谷——多民族が暮らす雲南省の国境地帯をゆく ほか	2009	4
129	特集 竹と暮らし——モンスーンアジアの竹文化 ほか	2009	7
130	ラグビーからみる世界 ほか	2009	10
131	特集 ガンディーをたどる ほか	2010	1
132	特集 アレクサンドロスの道 ほか	2010	4
133	特集 鄭和の足跡をたどる——海からみたアジア ほか	2010	7
134	特集 梅棹忠夫の軌跡 ほか	2010	10
135	弦の響き——津軽三味線の形成と現在 ほか	2011	1
136	特集 アジアからの地平——家畜と人との「意外」な関係 ほか ※	2011	4
137	今を生きる台湾の人びと ほか	2011	7
138	復興への道 ほか ※	2011	10
139	特集 南方熊楠と民俗学 ほか	2012	1
140	海域アジアの要ジャワのテー・ボトル ほか	2012	4
141	特集 文化遺産を再見する ほか	2012	7
142	灼熱のサハラ砂漠——ニジェールのテネレへ ほか	2012	10
143	ふたつのお茶——変貌するミャンマーの喫茶事情 ほか	2013	1
144	特集 機織りの現場から ほか	2013	4
145	特集 水を考える ほか	2013	7
146	特集 暮らしの節目と自然の節目 ほか	2013	10
147	万国喫茶往来 第11回 メコンの流れとともに ほか	2014	1
148	特集 復興への道3 ほか	2014	4
149	特集 女神 ほか	2014	7
150	民博の礎—20世紀後半以降世界最大規模の民族誌コレクション ほか	2014	10
151	グリーンランド——人と自然のかかわり ほか	2015	1
152	特集 西欧社会の多様性 ほか	2015	4
153	楽器学の再創造 ほか	2015	7
154	特集 泉増一が歩いた道 ほか	2015	10
155	カレー料理とインド研究交遊録 ほか	2016	1
156	かつての朝食——フィリピン食文化の変容と普遍 ほか	2016	4
157	特集 信州の山 ほか	2016	7
158	二一世紀モンゴル民族衣装考（前編）甦る大モンゴル帝国の栄華? ほか	2016	10
159	特集 日本酒 古今東西 ほか	2017	1
160	特集 沖守弘が見たインド ほか	2017	4
161	特集 千里から考える ニュータウンとそのゆくえ ほか	2017	7
162	開館40周年特集 民博の展示がめざすもの ほか	2017	10
163	特集 ヒマラヤの吟遊詩人 ガンドルバの現在 ほか	2018	1
164	特集 モンゴル仏教と化身ラマ——あるいは生まれ変わりの人類学 ほか	2018	4
165	特集 岡本太郎の民族学 ほか	2018	7
166	特集 旅する楽器——南アジアの弦楽器 ほか	2018	10
167	特集 二つの顔をもつ山——世界遺産・富士山 ほか	2019	1
168	特集 暦をめくる、世界をめぐる ほか	2019	4
169	特集 オセアニア考古学の挑戦——篠遠喜彦の足跡から ほか	2019	7
170	特集 小泉八雲の怪異探究 ほか	2019	10
171	特集 先住民のいま ほか	2020	1
172	特集 1970年、梅棹忠夫が見ていた未来 ほか	2020	4
173	特集 土方久功と中島敦のパラオの日々 ほか	2020	7
174	特集 キリスト教受容のかたち——世界史のなかのかくれキリシタン ほか	2020	10
175	特集 生き物と現代文明 ほか	2021	1
176	特集 隣りのアフリカ人——グローバル世界に生きる人びと ほか	2021	4
177	特集 焼畑と文明——五木村から世界へ ほか ※	2021	7
178	特集 布と人 ほか	2021	10
179	特集 働くことと生きること——仕事の人類学 ほか	2022	1
180	特集 嗜好品——つくる・映える・やみつきになる ほか	2022	4
181	特集 沖縄——今に生きる記憶 ほか	2022	7
182	特集 モンゴルの写真家インジナーシの世界 ほか	2022	10
183	特集 民藝——人とモノとが出会うとき ほか	2023	1
184	特集 カラダの人類学——身体という秘境を旅する ほか	2023	4
185	特集 ビーズ大陸アフリカ ほか	2023	7
186	特集 争いの終わらせ方——紛争解決と共生の人類学 ほか	2023	10
187	特集 境界をゆきかう日系人 ほか	2024	1
188	特集 シン・シャーマニズム論——カミとつながる技術 ほか	2024	4
189	特集 先住民のデジタル世界——ありふれた日常実践と、あらたなる挑戦 ほか	2024	7
190	創設50周年記念 特集 私たちが歩んだ半世紀	2024	10

『季刊民族学』バックナンバー 国立民族学博物館友の会会員 頒布価格 1冊2,200円（税込）、一般 頒布価格 1冊2,750円（税込）